

山口大学 工学部 創成工学科 国土・環境デザイン系支援のためのご寄付のお願い

趣意書

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より山口大学工学部の教育・研究活動に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私ども社会建設工学科は、長きにわたり土木・環境分野の基礎力と応用力を備え、土木・建設技術者として実務社会で活躍できる人材を輩出し、地域社会および我が国の発展に寄与してまいりました。しかしながら、近年の激甚化する自然災害、人口減少、そして急速に進展するデジタル技術など、社会を取り巻く環境は劇的な変化を遂げています。これからの時代には、単に構造物を造るだけでなく、自然環境との調和、持続可能性、そしてデータの活用を含めた総合的な「デザイン力」を持つ人材が求められています。

こうした時代の要請に応えるべく、本学科は令和8年度（2026年度）より「創成工学科 国土・環境デザイン系」へと改組・再編いたしました。この新しい系では、土木工学及び環境工学に係る科目により、土木・環境分野の基礎知識を修得し、これらを基に構造・材料、地盤・土質、水・環境、情報・計画の専門知識と技術を教育します。これにより、「社会基盤コース」と「環境・防災コース」の両輪で、強靱なインフラの整備や環境保全、防災・減災といった課題に対し、AIやDX技術を駆使して解決できる実践力を養います。さらに、大学院への進学を促進し、修了後には次世代の「未来のインフラ」を創造できる人材を育成する最先端の教育・研究を展開してまいります。

しかしながら、国立大学法人を取り巻く財政状況は年々厳しさを増しており、国からの運営費交付金のみでは、学生たちに十分な実習環境や、世界水準の研究機材を提供することが困難になりつつあるのが現状です。そこで、この大きな転換点を機に、未来を担う学生たちが最高の環境で学び、挑戦できるよう、本組織の教育研究への考えに同意いただける皆様からのご支援を仰ぎたく、ここに寄付金を募る次第です。

「国土・環境デザイン系」として新たな一歩を踏み出す本組織に、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

用途

- ・学生への奨学及び学生の海外派遣への支援
- ・学生へのキャリア教育支援（建設業界研究会（企業説明会のようなイメージ）の開催など）
- ・若手教員の自己研鑽活動支援
- ・実験及び実習用機材の更新や導入
- ・事務員や職員の雇用など

敬具

令和8年吉日

山口大学工学部 社会建設工学科

（令和8年度より 創成工学科 国土・環境デザイン系）

系長 山本 浩一

国土・環境デザイン系教員 一同